

## 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて ②



### 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて

1 保幼小接続期カリキュラムとは 1P

2 宮城県内の取組 3P

3 幼児期から学童期への学びのイメージ 4P



4 アプローチカリキュラム実践の流れ 5P

5 スタートカリキュラム実践の流れ 6P

6 振り返り 7P

幼児期に主体的な遊びを通して身に付けた力が、学童期においてどのようにつながり、子どもの成長に作用していくのかを理解した上で、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校のいずれにおいても保幼小接続期カリキュラムを作成することが求められています

そこで、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校において、子どもの発達と学びの連続性及び一貫性を考慮し、保育と教育の円滑な接続を図るため、「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて」を作成しました。

それぞれの実情に合わせて接続期カリキュラムを作成、または実践する際の参考として、本書をご活用ください。

平成31年3月  
宮城県教育委員会





## 保幼小接続期カリキュラムの 実践に向けて

1 保幼小接続期カリキュラムとは 1P

2 宮城県内の取組 3P

3 幼児期から学童期への学びのイメージ 4P



4 アプローチカリキュラム実践の流れ 5P

5 スタートカリキュラム実践の流れ 6P

6 振り返り 7P

幼児期に主体的な学びを通して身に付けた力が、学童期においてどのようにつながり、子どもの成長に作用していくのかを整理した上で、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校のいずれにおいても保幼小接続期カリキュラムを作成することが求められています

そこで、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校において、子どもの発達と学びの連続性及び一貫性を考慮し、保育と教育の円滑な接続を図るため、「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて」を作成しました。

それぞれの実情に合わせて接続期カリキュラムを作成、または実施する際の参考として、本書をご活用ください。

平成31年3月  
宮城県教育委員会

## 3 幼児期から 学童期への 学びのイメージ



# 幼児期から学童期への学びのイメージ ～「学ぶ土台づくり」から「みやぎの志教育」へのつながり～



# 幼児期から学童期への学びのイメージ ～「学ぶ土台づくり」から「みやぎの志教育」へのつながり～



「学ぶ土台づくり」とは

宮城県が平成23年度から取り組んでいる「学ぶ土台づくり」では、幼児期を生涯にわたる人格形成を築く時期として捉え、**小学校入学までに**、子供たちが豊かな心情や学ぼうとする意欲、健全な生活を送る態度などを身に付けることを目指しています。



# 幼児期から学童期への学びのイメージ ～「学ぶ土台づくり」から「みやぎの志教育」へのつながり～



目指す子供の姿



元気いっぱい，夢いっぱい，瞳かがやく

“みやぎっ子”



～遊びや自然・人とのかかわりを通して，豊かな心をはぐくむ～

- 
- 目標1 親子間の愛着形成の促進
  - 目標2 基本的な生活習慣の確立
  - 目標3 豊かな体験活動による学びの促進
  - 目標4 幼児教育の充実のための環境づくり



# 幼児期から学童期への学びのイメージ ～「学ぶ土台づくり」から「みやぎの志教育」へのつながり～



「みやぎの志教育」とは

宮城県が平成22年11月から取り組んでいる「みやぎの志教育」では、小・中・高等学校等の全時期を通じて、人や社会と関わる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく教育を展開しています。



# 幼児期から学童期への学びのイメージ ～「学ぶ土台づくり」から「みやぎの志教育」へのつながり～



「みやぎの志教育」とは



**夢をはぐくみ 志に高める**

「みやぎの志教育」3つの視点

人と  
「かかわる」

よりよい生き方を  
「もとめる」

社会での役割を  
「はたす」

## 小学校段階の取組

日常の授業における学び合いや、人や社会と関わる身近な体験活動を通して、自分の役割を積極的に果たそうとする態度を育みながら、児童の自己有用感を高め、学習や生活への意欲を向上させていく。



# 幼児期から学童期への学びのイメージ ～「学ぶ土台づくり」から「みやぎの志教育」へのつながり～





# 幼児期から学童期への学びのイメージ ～「学ぶ土台づくり」から「みやぎの志教育」へのつながり～

「集団や組織の中で、よりよい人間関係を築く力や  
社会性を養う」



「様々な人と触れ合うことを通して、社会性や思いや  
りの心を育む」

「学ぶ土台づくり」

親子間の愛着形成 基本的な生活習慣 豊かな体験活動





## 保幼小接続期カリキュラムの 実践に向けて

1 保幼小接続期カリキュラムとは 1P

2 宮城県内の取組 3P

3 幼児期から学童期への学びのイメージ 4P



4 アプローチカリキュラム実践の流れ 5P

5 スタートカリキュラム実践の流れ 8P

6 振り返り

幼児期に主体的な遊びを通して身に付けた力が、学童期においてどのようにつながり、子どもの成長に作用していくのかを整理した上で、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校のいずれにおいても保幼小接続期カリキュラムを作成することが求められています

そこで、保育所、幼稚園、認定こども園等と小学校において、子どもの発達と学びの連続性及び一貫性を考慮し、保育と教育の円滑な接続を図るため、「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて」を作成しました。

それぞれの実情に合わせて接続期カリキュラムを作成、または実施する際の参考として、本書をご活用ください。

平成31年3月  
宮城県教育委員会

「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて〈リーフレット〉」

「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて〈資料編〉」

は、宮城県HPからダウンロードできます。

次回は、「アプローチカリキュラム」について御説明いたします。

